

こんにちは。鈴木 拓です。

「基礎英語講座 New Beginning」をご利用いただきありがとうございます。

今号も引き続き、「時制」のお話、今回は「過去」を表す時制です。

## ■過去形と現在完了形

今まで、過去を表す時制として、

「過去形」と「現在完了形」をお話し、  
今までは同じように扱ってきました。

ただ、この2つ、微妙な差があるのです。

過去形と現在完了形の違いについて、  
多くの方が、「違いがわからない」と悩んでいます。

その理由は、「実ははっきりとしたルールがない」ということにつきます。

学校の授業を聞いたり、多くの教材を読むと、

「すべてを事細かにきっちり使い分けないといけない」

という印象を受けると思います。

しかし、実際にネイティブはどう使っているか？

これを見ていくと、全くそんなことはないのです。

実際のところは、そんな細かい使い分けをしなければいけないという  
ケースはかなり少ないですし、

TOEICなど、実用英語を題材にした試験では、  
そんな細かい違いを問う問題はあまり出ません。

そんな中でも、

「このケースは、過去形じゃないとダメですよ」  
「このケースは、現在完了形じゃないとダメですよ」

というケースも少しありますので、今号で、そちらを解説させていただきます。

具体的には

1：過去形しか使えないパターン1つ

2：現在完了形しか使えないパターン1つ

### 3：現在完了形の方が好まれるパターン2つ

をお話しさせていただきます。

なお、上記のように、「実用英語」という観点では、本講座の内容を押さえておけば十分ですが、

「学校の試験」においては、先生によっては、

「ネイティブが実際にどう使うかではなく、  
厳密なルール通りに出題する」

という先生もいます。

その場合は、先生の採点が絶対となってしまうため、その先生のルールに従ってください。

(ただ、実用英語ではそこまで気にすると逆効果です)

### ■ 1：過去形しか使えないパターン1つ

「過去のいつかをはっきり言っている時」

は過去形しか使えません。

例えば、

I ate a hamburger at twelve o'clock.  
「私は12時にハンバーガーを食べた」

の場合は、

.                      ハンバーガーを食べた  
.                                      ★  
-----  
過去                      12時                                      現在                                      未来

と、「12時」と「過去のいつか」をはっきりと述べており、過去形しか使えません。

また、12時のようにピンポイントではなく、幅のある期間でも同様に、それがすでに過去であれば、過去形しか使えません。

He was a good student when he was in high school.  
「高校時代、彼は良い生徒だった」(もうすでに高校を卒業した人)

.                      良い生徒だった  
.                      ★-----☆  
-----  
過去                      ←---高校時代--->                                      現在                                      未来

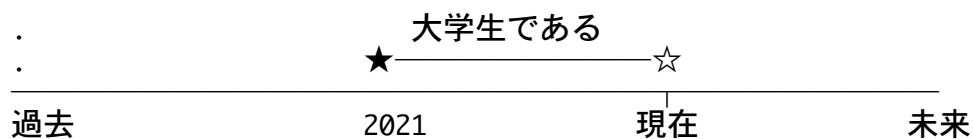
## ■ 2：現在完了形しか使えないパターン1つ

「過去から始まったことが、今まで継続している場合  
(今ちょうど終わった場合も、今後も継続の場合も)」

こちらは現在完了形しか使えません。

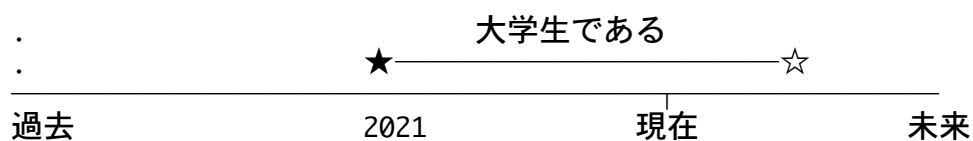
例えば、2021年に大学生になり、今も大学生なら、

I have been a college student since 2021.  
「私は2021年から大学生です」



と、現在完了形しか使えません。

上記の図は「今大学を卒業する」ようにも見えるかもしれませんが、  
↓の図のように、引き続き大学生を続ける場合も使えます。



## ■ 現在完了形と相性の良い副詞forとsince

現在完了形で、「過去から現在までの継続」を表す場合、  
forとsinceと一緒に使われることが多いです。

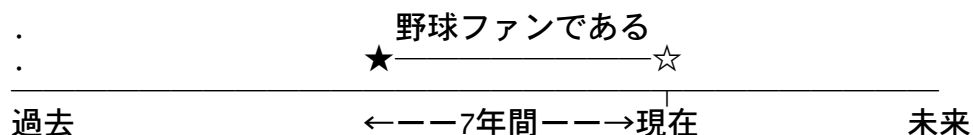
forは「～の間」と、「期間の長さ」を表し、  
sinceは「いつから」と、「開始時点」を指します。

まずはforの例。

forは前置詞ですので、後ろに名詞を置いて、「期間の長さ」を表します。

例：I have been a baseball fan for seven years.  
「私は7年間野球ファンです」

こちらでは、for seven yearsで、「7年間」という期間を表します。

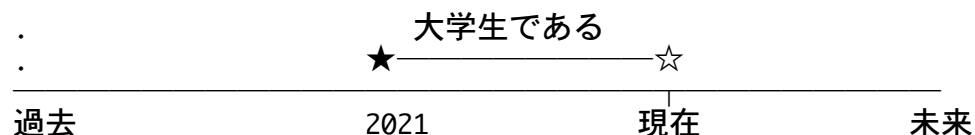


続いて、sinceの例。

sinceは前置詞としても、従属接続詞としても使用可能で、後ろに、名詞か文で、「開始時点」を表します。

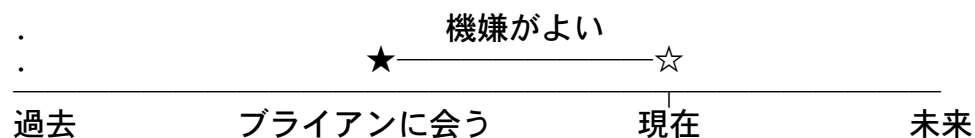
まずは前置詞の例は、先ほどの文がその例です。

I have been a college student since 2021.  
「私は2021年から大学生です」



続いては、従属接続詞の例。

She has been happy since she saw Brian.  
「彼女はブライアンに会って以来、機嫌が良い」



## ■「継続」でも、現在まで続いていない場合は過去形

上記のように、

「過去から始まったことが、今まで継続している場合  
(今ちょうど終わった場合も、今後も継続の場合も)」

この場合は、現在完了形を使用します。

ここで見落とされがちなポイントは、

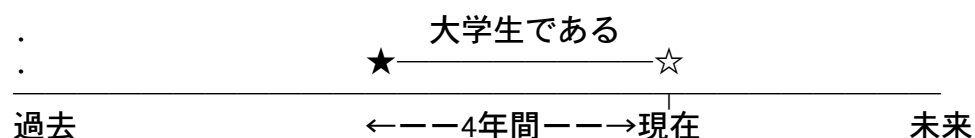
「今まで」の部分です。

継続であっても、もう終わってしまった継続には使えず、  
その場合は、過去形を使わないといけません。

例えば、「私は4年間大学生でした」という場合。

今も大学生、あるいはちょうど今卒業であれば、  
「今まで継続」なので、現在完了形で、

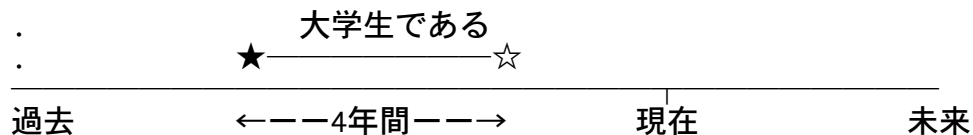
I have been a college student for four years.



となりますが、その4年間は過去の場合。

例えば、もう社会人であり、今は大学生でないのなら、「今まで」継続しておらず、過去に終わったことなので、過去形で、

I was a college student for four years.



とする必要があります。

### ■ 3：現在完了形の方が好まれるパターン2つ その1「経験」

ここからは「現在完了形の方が好まれるパターン」をお話しします。

今までは、「どちらか片方でないとダメ」なパターンですが、今回は「好まれる」なので、現在完了形が好ましいけど、過去形を使うネイティブもいる、というパターンになります。

1つ目は「経験」を表す場合。

「今までに～したことがある」という経験を話す時は、過去形よりも現在完了形が好まれます。

例えば、「私はコンビニで働いたことがある」は、

I have worked for a convenience store.

と現在完了形で表すことが好まれます。

「好まれる」であり、過去形でも間違いではないのですが、本講座では、「好まれる」場合は、そちらを使っていく方針を取らせていただきます。

### ■ 経験の否定「～したことがない」はneverを使う

この「経験」を表す表現。

否定文の場合、neverを使って表現します。

例えば、「私はコンビニで働いたことはありません」は、

I have never worked for a convenience store.

とします。

## ■「～に行ったことがある」

経験において、「～に行ったことがある」という意味の英文を作る時は注意が必要です。

「～に行く」という意味の動詞はgo toですから、これをそのまま現在完了形にして、

今日本にいる状態で、  
「ニューヨークに行ったことがある」

を英語にすると、

I have gone to New York.

になります。

しかし、これだと「私はニューヨークに行ってしまった、今は日本にいない」という意味になってしまいます。

「～に行ったことがある」の場合は、

have gone to

ではなく、

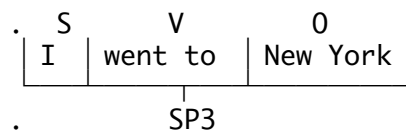
have been to

とgoneの代わりにbeenを使う必要があります。

I have been to New York.

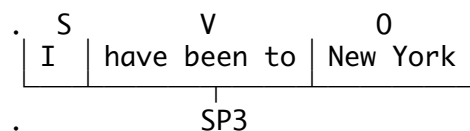
なら、今日本にいて、  
「ニューヨークに行ったことがある」という意味を表せます。

構造図も、



が、went単独だと第1文型だけど、  
went toセットで第3文型のイディオム動詞とするように、

「行ったことがある」のhave been toのbeenはgoneと同じだと思って、



と第3文型のイディオム動詞として見ます。

### ■ 3：現在完了形の方が好まれるパターン2つ その2「完了」

こちらは経験ほど強い傾向はありませんが、  
「これを終えた」という「完了した」という意図を伝える場合は、  
過去形よりも現在完了形が好まれます。

例えば、

I have already solved this problem.  
「この問題はすでに解決した」

は、「すでに完了してますよ」という意味なので、現在完了形を使っています。

### ■ 「完了」の現在完了形と相性の良い副詞alreadyとyet

完了の現在完了形は、already、yetと相性がよく、一緒に使われることが多いです。

alreadyは「すでに～しました」という意味で、普通の文で使われます。

先ほどの例、

I have already solved this problem.  
「この問題はすでに解決した」

がその例です。

yetは、「まだ～していません」という意味で、否定文で使います。

例えば、

She hasn't finished her homework yet.  
「彼女はまだ宿題を終えていない」

は、その例。

このように、yetは文末につけて使うことが多いです。

### ■ 過去のいつかをはっきりと言った場合は、「経験」「完了」でも過去形

上記のように、経験と完了を表す場合は、  
現在完了形が好まれます。

ただし、「好まれる」というだけ。

一方、「過去のいつかをはっきり言っているときは過去形」は、

過去形「でないとダメ」と、強い条件付きです。

なので、「経験」「完了」であっても、過去のいつかをはっきりと言っていれば、そちらが優先され、過去形でなければいけません。

例えば、単に「私はニューヨークに行ったことがある」でしたら、

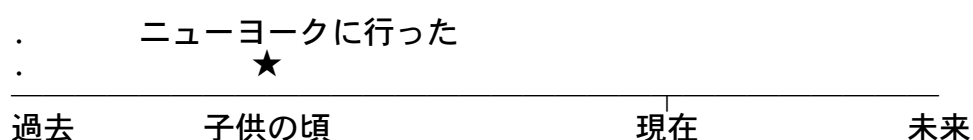
I have been to New York.

ですが、「私は子供の頃にニューヨークに行ったことがある」だったら、

I went to New York when I was a child.

と、過去形 (went to) でなければいけません。

when I was a childと過去のいつかをはっきりと言っているからです。



■過去のいつかをはっきりと言わず、漠然と過去を表す場合はどちらでも良い

基本的に、今回の内容は以上となります。

- 1 : 過去のいつかをはっきりと言っているなら過去形
- 2 : 現在までの継続を表すなら現在完了形
- 3 : 経験か完了を表すのなら、現在完了形が好まれる

これ以外の場合、非常によくある、

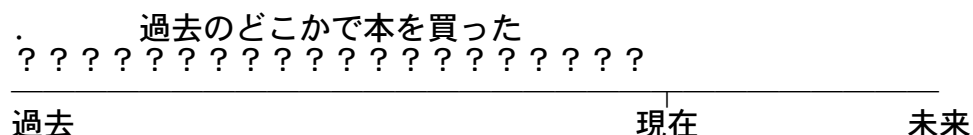
「過去のいつかをはっきりと言わず、漠然と過去を表す場合」

この場合は、過去形と現在完了形、どちらでも良いのです。

例えば、「私はこの本を買いました」は、

I bought this book.  
I have bought this book.

のどちらでも大丈夫です。



また、recently「最近」のように、過去のいつかを言っではいるものの、はっきりとは言っていない場合も同様で、

I bought this book recently.  
I have bought this book recently.

最近」のどこかで本を買った  
????????

なので、まとめると、以下のようになります。  
問題を解く際も、このようにやってみてください。

- ※：ifやwhetherの最後のor notは単語リストに入れておりません。

1. 私は3日前にあの映画を見た。  
(watch/ago/movie/days/three)
2. ライアン氏は2016年以来、市長である（今も）。  
(2016/the/Mr. Ryan/be/mayor/since)
3. ジョンソンさんは2年間、私の上司です（今も）。  
(years/two/boss/Mr. Johnson/be/for)
4. 私たちは知事と話したことがないのです。  
(governor/talk/never/to/the)
5. 私はまだあの古代の城に着いていません。  
(castle/to/get/ancient/yet)
6. あの音楽家は、彼女がテレビ番組に出て以来、人気です。  
(appear/the/be/TV/musician/popular/on/show)
7. 私は横須賀に行ったことがある。（1語余計な単語あり）  
(go/Yokosuka/to/be)
8. 私は2001年にアメリカで野球の試合を見たことがある。  
(in/America/baseball/watch/in/a/game/2001)
9. 私は10歳の時、6ヶ月、フランスに住んでいた。  
(years/for/be/old/in/ten/live/France/months/six)
10. 私は九州の中の小さな村を訪れました。  
(a/village/Kyushu/visit/small/in)